

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公表番号】特表2003-516394(P2003-516394A)

【公表日】平成15年5月13日(2003.5.13)

【出願番号】特願2001-543523(P2001-543523)

【国際特許分類】

C 0 7 D 233/60	(2006.01)
A 6 1 P 1/00	(2006.01)
A 6 1 P 1/02	(2006.01)
A 6 1 P 1/04	(2006.01)
A 6 1 P 1/16	(2006.01)
A 6 1 P 3/10	(2006.01)
A 6 1 P 9/00	(2006.01)
A 6 1 P 9/10	(2006.01)
A 6 1 P 11/00	(2006.01)
A 6 1 P 11/06	(2006.01)
A 6 1 P 13/12	(2006.01)
A 6 1 P 15/00	(2006.01)
A 6 1 P 15/04	(2006.01)
A 6 1 P 17/00	(2006.01)
A 6 1 P 17/02	(2006.01)
A 6 1 P 17/06	(2006.01)
A 6 1 P 17/10	(2006.01)
A 6 1 P 19/02	(2006.01)
A 6 1 P 21/00	(2006.01)
A 6 1 P 21/04	(2006.01)
A 6 1 P 25/00	(2006.01)
A 6 1 P 25/06	(2006.01)
A 6 1 P 25/28	(2006.01)
A 6 1 P 25/32	(2006.01)
A 6 1 P 27/02	(2006.01)
A 6 1 P 27/12	(2006.01)
A 6 1 P 29/00	(2006.01)
A 6 1 P 31/12	(2006.01)
A 6 1 P 31/18	(2006.01)
A 6 1 P 37/08	(2006.01)
A 6 1 P 43/00	(2006.01)
A 6 1 K 31/415	(2006.01)

【F I】

C 0 7 D 233/60	1 0 2
A 6 1 P 1/00	
A 6 1 P 1/02	
A 6 1 P 1/04	
A 6 1 P 1/16	
A 6 1 P 3/10	
A 6 1 P 9/00	
A 6 1 P 9/10	
A 6 1 P 11/00	

A 6 1 P 11/06
A 6 1 P 13/12
A 6 1 P 15/00
A 6 1 P 15/04
A 6 1 P 17/00
A 6 1 P 17/02
A 6 1 P 17/06
A 6 1 P 17/10
A 6 1 P 19/02
A 6 1 P 21/00
A 6 1 P 21/04
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 25/06
A 6 1 P 25/28
A 6 1 P 25/32
A 6 1 P 27/02
A 6 1 P 27/12
A 6 1 P 29/00
A 6 1 P 29/00 1 0 1
A 6 1 P 31/12
A 6 1 P 31/18
A 6 1 P 37/08
A 6 1 P 43/00 1 1 1
A 6 1 K 31/415

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

セレコキシブのI型結晶形態。

【請求項2】

約5.5度、5.7度、7.2度または16.2度の2にピークを有するX線粉末回折パターンを有する、請求項1に記載の結晶形態。

【請求項3】

図1aの上段に示されるX線粉末回折パターンを実質的に有する、請求項1に記載の結晶形態。

【請求項4】

約160～約164の融解範囲を有する、請求項1に記載の結晶形態。

【請求項5】

約162～約163の融解範囲を有する、請求項1に記載の結晶形態。

【請求項6】

約162.8の融点を有する、請求項5に記載の結晶形態。

【請求項7】

約160.0～約164.0の示差走査熱量測定法による吸熱極大を有する、請求項5に記載の結晶形態。

【請求項 8】

約 1 6 3 . 3 に吸熱極大を有する、請求項 5 に記載の結晶形態。

【請求項 9】

約 1 6 0 ~ 約 1 6 4 の融解範囲をさらに有する、請求項 8 に記載の結晶形態。

【請求項 10】

約 1 6 2 . 8 の融点を有する、請求項 9 に記載の結晶形態。

【請求項 11】

約 3250 cm^{-1} ~ 約 3260 cm^{-1} にピークを有する赤外スペクトルを有する、請求項 1 に記載の結晶形態。

【請求項 12】

約 3256 cm^{-1} にピークを有する赤外スペクトルを有する、請求項 11 に記載の結晶形態。

【請求項 13】

約 3350 cm^{-1} ~ 約 3360 cm^{-1} にピークを有する赤外スペクトルを有する、請求項 1 に記載の結晶形態。

【請求項 14】

約 3356 cm^{-1} にピークを有する赤外スペクトルを有する、請求項 13 に記載の結晶形態。

【請求項 15】

約 3256 cm^{-1} および約 3356 cm^{-1} にピークを有し、かつ約 1 6 2 . 8 の融点を有する、請求項 1 に記載の結晶形態。

【請求項 16】

少なくとも約 5 % の I 型セレコキシブの相純度を有する、請求項 1 に記載の結晶形態。

【請求項 17】

少なくとも約 10 % の I 型セレコキシブの相純度を有する、請求項 1 に記載の結晶形態。

【請求項 18】

少なくとも約 25 % の I 型セレコキシブの相純度を有する、請求項 1 に記載の結晶形態。

【請求項 19】

少なくとも約 50 % の I 型セレコキシブの相純度を有する、請求項 1 に記載の結晶形態。

【請求項 20】

少なくとも約 75 % の I 型セレコキシブの相純度を有する、請求項 1 に記載の結晶形態。

【請求項 21】

少なくとも約 90 % の I 型セレコキシブの相純度を有する、請求項 1 に記載の結晶形態。

【請求項 22】

実質的に相純粹形態の I 型セレコキシブを有する、請求項 1 に記載の結晶形態。

【請求項 23】

セレコキシブの I I 型結晶形態。

【請求項 24】

約 1 0 . 3 度、 1 3 . 8 度または 1 7 . 7 度の 2 にピークを有する X 線粉末回折パターンを有する、請求項 23 に記載の結晶形態。

【請求項 25】

図 1 a に示される X 線粉末回折パターンを実質的に有する、請求項 23 に記載の結晶形態。

【請求項 26】

約 1 5 9 ~ 約 1 6 4 の融解範囲を有する、請求項 23 に記載の結晶形態。

【請求項 27】

約 161 ~ 約 163 の融解範囲を有する、請求項 23に記載の結晶形態。

【請求項 28】

約 161.5 の融点を有する、請求項 27に記載の結晶形態。

【請求項 29】

約 160.0 ~ 約 164.0 の示差走査熱量測定法による吸熱極大を有する、請求項 27に記載の結晶形態。

【請求項 30】

約 162.0 に示差走査熱量測定法による吸熱極大を有する、請求項 27に記載の結晶形態。

【請求項 31】

約 160 ~ 約 163 の融解範囲をさらに有する、請求項 30に記載の結晶形態。

【請求項 32】

約 161.5 の融点を有する、請求項 31に記載の結晶形態。

【請求項 33】

少なくとも約 5 % の II 型セレコキシブの相純度を有する、請求項 23に記載の結晶形態。

【請求項 34】

少なくとも約 10 % の II 型セレコキシブの相純度を有する、請求項 23に記載の結晶形態。

【請求項 35】

少なくとも約 25 % の II 型セレコキシブの相純度を有する、請求項 23に記載の結晶形態。

【請求項 36】

少なくとも約 50 % の II 型セレコキシブの相純度を有する、請求項 23に記載の結晶形態。

【請求項 37】

少なくとも約 75 % の II 型セレコキシブの相純度を有する、請求項 23に記載の結晶形態。

【請求項 38】

少なくとも約 90 % の II 型セレコキシブの相純度を有する、請求項 23に記載の結晶形態。

【請求項 39】

実質的に相純粹形態の II 型セレコキシブを有する、請求項 23に記載の結晶形態。